

アルディッティ四重奏団
©Lukas Beck

8.23 [土] アルディッティ弦楽四重奏団 ～結成 40 周年記念演奏会～

カルテットを率いる鬼才アーヴィン・アルディッティへのインタビュー

文 中村 晃

アーヴィン・アルディッティ
インタビュー

——アーヴィンさんは、経歴を拝見すると、1976年にロンドン交響楽団に入団して、そのわずか2年後の25歳の時に、同交響楽団の副コンサートマスターに就任されています。しかし、さらに2年後の1980年にはアルディッティ弦楽四重奏団に専念すべくオーケストラを脱退されています。それほどまでに強い思いで始められた、アルディッティ弦楽四重奏団を結成された理由をお聞かせください。

アーヴィン・アルディッティ：私が弦楽四重奏団を創設した理由は、とても若い頃から抱いていた同時代の音楽作品に対する私の関心からです。私は12歳かもう少し前に、シュトックハウゼン、ベリオ、クセナキスの作品を聴いていました。13歳の時には、メシアンとクセナキスにも会っていますし、15歳の時に、ダームシュタット夏季現代音楽講習会に参加しました。アルディッティ弦楽四重奏団を組織することは、私の音楽上の関心と、より伝統的な範疇にあったヴァイオリンの修練とを結びつける、合理的な方法であったと思っています。

——今回の水戸公演では、たいへん充実

したプログラムをご用意くださいました、ありがとうございました。それぞれの作品について、コメントをお願いします。

アルディッティ：水戸では、通常のコンサート以上の演奏をしたいと思っています。プログラムのアイデアは申し分のない意味を持っており、水戸の聴衆は高い集中力と大きな関心をもって、私たちの演奏に寄り添ってくれることと確信しています。アイデアはとてもシンプルで、2つの20世紀初期の「古典的」な作品の間に、どちらもイギリス人作曲家が私たちのために書いた2つのスペシャルな同時代の音楽作品を、サンドウィッチのように挟みました。

ベルクの驚くべき最初の〈弦楽四重奏曲〉作品3は、真に傑作です。あらゆるニュアンスが作曲家によって記譜された複雑なスコアをもつこの作品は、間違いなく多くの現代作品、特に今回のコンサートで続いて取り上げるファーニホウ作品にとって、先駆的な存在であります。

ファーニホウの〈弦楽四重奏曲 第3番〉は、私にとって、彼の弦楽四重奏のためのすべての作品の中で最も印象的な作品です。第1楽章は、とてもゆっくり動き回る昆虫のようです。あるいは、殻を脱ぎ換えようとしているカタツムリのようです。第2楽章では、第2ヴァイオリンのソロが炸裂し、その後すぐに

全てのパートがこのクレイジーな複合的音楽に加わっていきます。この楽章の完璧なフォルムは、エネルギーが拡散する様を見せ、最後はヴィオラのソロで締めくくられます。

2つめの同時代作品として、私達はバートウィスルのより最近の作品を選びました。この作曲家は弦楽器のために作曲することにはあまり心地よさを感じてはなく、彼に9楽章から成る最初の弦楽四重奏曲の作曲のペンを取らせるためには、幾分の説得が必要でした。〈弦の木〉は、彼のこのジャンルの2番目の作品ですが、時の経過がとても早い、長い1つの楽章から成る作品です。この作品には演劇的な要素もあり、終結に向かってここでもエネルギーは拡散していき、演奏者たちはステージの外側のポジションへと移動し、最終的に舞台上には、最後に奏する音を託されたチェリストだけが残されます。

ベルク作品でコンサートを始めるという選択は、シェーンベルクの〈弦楽四重奏曲 第2番〉をコンサートの締めくくりとしてプログラムの最後に置くことへの数多くの理由を与えました。シェーンベルクの〈弦楽四重奏曲 第2番〉は、作品の成立以来、最も重要な弦楽四重奏曲の1つであり、最後の2つの楽章では、ソプラノが結び付けられています。この作品は、シェーンベルクの「拡張された」

調性で始まりますが、ソプラノが入る第3楽章から、作曲家は無調の最初の試みを行います。

新ウィーン楽派（シーエンベルク、ベルク、ウェーベルン）の作品は、現代の新しい作品と並んで、アルディッティ弦楽四重奏団の公演では、いつもたいへん重要な役割を負っています。

——今回のシェーンベルク作品の演奏のために、ソプラノのサラ・マリア・ズンさんをご推薦いただきました。ズンさんについてご紹介ください。

アルディッティ：サラ・マリア・ズンは、驚くべきソプラノです。彼女は、この7年間はシュトゥットガルトのノイエ・ヴォーカリストで活動していて、多数の作曲家と作業をして、数百の作品を歌ってきました。数多くのコンサートで彼女の非凡な歌唱を聴き、私はアメリ

カの作曲家ジョン・ゾーンにソプラノと弦楽四重奏のための作品を委嘱するアイデアを思いつきました。その作品は、昨年に完成し、演奏は大きな喝采を浴びました。サラは、シェーンベルクの〈弦楽四重奏曲〉を長い間歌ってきていますし、私たちは幸運にも、今年に入る前から、十分にこの作品と一緒に演奏してきています。水戸の聴衆の皆様、彼女を紹介できることは、私の大きな喜びです。

——最後に水戸のお客様に向けて、メッセージをお願いします。

アルディッティ：これまでの水戸での私たちのコンサートは、主に特定の作曲家（ベリオ、リゲティ、シュニトケ）の輪郭を紹介するコンサートでした。今回のコンサートは、水戸の聴衆の皆様、20世紀初頭の古典的な作品から20世紀後半と21世紀初期の将来の古典とな

る作品まで、それぞれがとても性格の異なるレパートリーによる、アルディッティの演奏を体験していただく絶好の機会となると思います。

（本インタビューの完全版を水戸芸術館音楽部門ブログに掲載しています。）

2014年6月8日 Eメールにて
（協力：オカムラ&カンパニー）

アルディッティ弦楽四重奏団
～結成40周年記念演奏会～

8/23 土 15:30 開場
16:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

全席指定 一般 3,500円

ユース（25歳以下）1,000円

出演 アルディッティ弦楽四重奏団

サラ・マリア・ズン（ソプラノ）

片山杜秀（おはなし）

曲目 ベルク：弦楽四重奏曲 作品3

フアーニホウ：弦楽四重奏曲 第3番

パートウイスル：弦楽四重奏曲（弦の木）

シェーンベルク：弦楽四重奏曲 第2番

嬰へ短調 作品10

音楽満喫！水戸芸術館で夏やすみ

8/9 土

こどものためのパイプオルガン体験 10:00-10:45 / 11:00-11:45

パイプオルガン・プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル 13:30-14:15頃



山口綾規

水戸芸術館では夏休みのアート体験として、音楽・演劇・美術にまたがるワークショップ満載の「こども・こらぼ・らぼ」を開催します。音楽は、講師にオルガニスト・山口綾規さんを迎えて、今年も人気企画「こどものためのパイプオルガン体験」（対象：小学生）を行います！3,283本のパイプ数を誇る当館の大オルガンを実際に弾いてみるほか、ピアノやチェンバロといった他の鍵盤楽器もふれてみます。この夏は、さまざまな鍵盤楽器の物知り博士になってみませんか？（詳細は後日ウェブサイトにアップします。）

同日13:30からは「パイプオルガン・プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル」を行います！ビゼー作曲（レメーア編）〈カルメン幻想曲〉や、大ヒット映画「アナと雪の女王」の主題歌「Let It Go～ありのまままで～」など、ジャンルの垣根を越えて活躍する山口さんならではの選曲で、夏の一日を華やかに盛り上げます。また演奏台の近くにカメラを設置して、オルガン演奏の様子をスクリーンに投影して臨場感豊かにお楽しみいただけます。ぜひご家族そろってお出かけください。

文 高巢真樹

8/16 土

あなたに、わたしに、世界に PEACE 13:30-14:15頃

パイプオルガン・プロムナード・コンサート “び～すプロジェクト”



椎名雄一郎

水戸空襲や広島・長崎への原爆投下、そして終戦を迎えた8月を「戦争と平和を考える月間」として、水戸市平和記念館、水戸市立博物館、水戸芸術館の3館が連携して開催する「び～すプロジェクト」。8月16日には水戸芸術館で「パイプオルガン・プロムナードコンサート」の特別版として、平和作文コンクールにおいて優秀な成績を収め、平和大使として広島に派遣される2人の小中学生の平和作文の朗読発表会とパイプオルガン演奏をお届けします。オルガン演奏は、東京芸術大学などで教鞭を執る椎名雄一郎さん。J.S. バッハ〈前奏曲とフーガト長調〉BWV541、メンデルスゾーン〈オルガン・ソナタ 第6番 二短調〉作品65の6などが取り上げられます。「祈り」の楽器パイプオルガンの響きと共に、「平和」についてあらためて考えてみませんか？

文 中村晃

8.10 日 at 15:00 NHK 水戸児童合唱団 第4回定期演奏会

茨城県域デジタル放送を記念して、2005年に活動を始めた「NHK水戸児童合唱団」は、今年で、活動10年目を迎えました。その記念すべき年に、この水戸芸術館コンサートホールATMで定期演奏会を開催出来る事になり、大変嬉しく、関係の皆様へ心から感謝申し上げます。

コンサートの内容をお知らせ致しますと、まず第1ステージは、皆様おなじみの「NHKみんなのうた」です。2011年に放送50周年を迎えた「みんなのうた」ですが、今までに放送した楽曲は1300曲以上にのぼります。その中から、〈メトロポリタン美術館〉〈天使のパンツ〉などの懐かしい歌や、現在放送中の〈スパークだ!〉などを演奏致します。

第2ステージはシニアクラス(中学1年生以上)の演奏です。コチャールとフォーレの楽曲を取り上げました。充実したハーモニーをお楽しみ下さい。

第3ステージは、今、日本で最も活躍されている音楽家のお一人でいらっしゃる、寺嶋陸也先生を客演ピアニストにお招きしてのステージです。曲目は、寺嶋先生作曲の〈こおろぎは歌う〉。F・G・ロルカの詩を、寺嶋先生ご自身が訳詩し、作曲なさったものです。おとぎ話のような世界を、生き生きと表現したいと思っております。NHK全国学校音楽コンクールの課題曲となった〈風になりたい〉、谷川俊太郎の詩による〈春に〉も寺嶋先生のピアノで演奏致します。

第4ステージは、皆様よく御存じの児童合唱曲を集めました。〈ブリーブ〉〈翼をください〉〈メリー・ポピンズ〉等々。盛り沢山の内容となっております。

メンバー全員、勉強や部活との両立に苦心しながら、一生懸命練習しております。子供たちの心からの音楽を、是非お楽しみいただきたく、ご来場をお待ちしております。

原田昌江
(NHK水戸児童合唱団常任指揮者)



2014.5.11

トルヴェール・クワルテット

須川展也氏を中心に日本を代表する凄腕サクソフォン奏者たちが集うトルヴェール・クワルテットの公演。演奏時間1時間に及ぶ〈トルヴェールの《惑星》〉で会場を大いに盛り上げ、ピエルネ作品では抒情的なハーモニーを聴かせ、新作〈ナポリ!ナポリ!ナポリ!〉ではスーパープレイを魅せ合い、技を仕掛け合う。親密に音で会話し、ボケとツッコミを応酬し合う凄技のアンサンブル。アンコールは、佐橋俊彦〈With You〉、長井桃子〈日本の歌〉。《篠田》アンケートから■サクソフォン4本でこれほど重層的になるとは思いもよらず、感動的でした。(水戸市:M.H.さん) ■〈日本の歌〉には驚いた。アンコールでこんなのをやるなんて(笑)。(龍ヶ崎市の方)

2014.5.23, 25, 27

水戸室内管弦楽団 第90回定期演奏会 & 川崎公演

指揮：小澤征爾

水戸芸術館館長・小澤征爾氏が、水戸室内管弦楽団(MCO)第90回定期と川崎公演に登場した。まずは指揮者なしでメンデルスゾーン〈弦楽のためのシンフォニア 第2番〉からス

タート。モーツァルト〈オーボエ協奏曲 八長調〉では、楽団員でもあるフィリップ・トンドゥル氏が吹き振りを務め、清々しく艶やかなソロで会場を魅了した。後半は小澤氏によるベートーヴェンの交響曲 第7番。燃え立つような凄みでこの曲のエネルギーを体現するマエストロに導かれ、強靱な生命力のほとばしる熱演が繰り広げられた。なお24日は当館、26日は茨城県民文化センターにて、この夏、全国高等学校総合文化祭本番に参加する高校生にMCOの楽団員たちが公開レッスンを開催。奏法の具体的なアドバイスから音楽全体の生き生きとしたイメージ作りまで、熱心に指導が行われた。《高巣》アンケートから■1曲目メンデルスゾーンでの合奏力の素晴らしさ、2曲目モーツァルトでのオーボエの沁みするような音、MCOとの掛け合いがよかったです。圧巻はベートーヴェン第7番。鳥肌の立つすごい響きでした。(千葉県:K.A.さん) ■我を忘れて小澤先生の指揮される音楽に浸り、胸が熱く、涙も出ました。終演後、あんなに会場が感激のつぼに入る光景は初めてです!(静岡県:M.F.さん) ■トンドゥルさんの演奏は心が洗われるほどの感動でした。ベートーヴェンでは、オーケストラが歌い、小澤さんがめいっばい力を引き出して、心に一生残るすばらしい演奏でした。(大阪府:T.O.さん)

最近の公演から



1:トルヴェール・クワルテット
2-3:水戸室内管弦楽団 第90回定期演奏会/公開レッスン

チケット・インフォメーション

《7月26日(土) 発売分》

■ミシェル・ブヴァール オルガン・リサイタル

10/24 (金) 19:00 開演

料金 [全席指定] A席 ¥3,000 / B席 ¥2,000 / ユース (25歳以下) ¥1,000

■新ダヴィッド同盟 演奏会

10/31 (金) 19:00 開演、11/2 (日) 16:00 開演 (2公演、別プログラム)

料金 [全席指定] A席 ¥5,500 / B席 ¥4,500 / ユース (25歳以下) ¥2,000

A席セット ¥10,000 / B席セット ¥8,000 / ユースセット ¥3,500

■河村尚子 ショパン・プロジェクト 第1回

11/8 (土) 16:00 開演 料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース (25歳以下) ¥1,000

■宇野陽子 チェロ・リサイタル

11/16 (日) 15:00 開演

料金 [全席自由] 一般 ¥3,000 (前売り ¥2,500) / 学生 ¥1,500 (前売り ¥1,000)

■ちょっとお昼にクラシック 池上英樹 (マリンバ、打楽器)

11/24 (月・祝) 13:30 開演 料金 [全席指定] ¥1,500 (1ドリンク付き)

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり (20席以上) △…残席わずか (20席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎NHK 水戸児童合唱団 第4回定期演奏会……………8/10 (日) 自由席○

◎アルディッティ弦楽四重奏団……………8/23 (土) 中央○、左右○

◎ちょっとお昼にクラシック 大萩康司 (ギター) & 三浦一馬 (バンドネオン)

……………9/20 (土) 中央△、左右○

◎坂口大介・高野綾 デュオ・リサイタル……………9/28 (日) 自由席○

◎水戸室内管弦楽団 第91回定期演奏会 (指揮、オーボエ:ハインツ・ホリガー)

……………10/4 (土) 中央○、左右・裏○

……………10/5 (日) 中央○、左右・裏○

◎茨城の名手・名歌手たち 第24回 (司会:池田晋一郎)……………10/11 (土) 自由席○

※7/1 (火) 現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な8月のスケジュール

コンサートホール ATM

■NHK 水戸児童合唱団 第4回定期演奏会

8/10 (日) 15:00 開演 料金 [全席自由] 一般 ¥1,500 / 高校生以下 ¥800

■アルディッティ弦楽四重奏団

8/23 (土) 16:00 開演

料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース (25歳以下) ¥1,000

■《第46回 水戸市芸術祭》

□ジュニアオーケストラ演奏会 8/17 (日) 14:00 開演 料金 [全席自由] ¥500

□交響楽演奏会 8/31 (日) 14:00 開演 料金 [全席自由] ¥1,500

エントランスホール

■パイプオルガン プロムナード・コンサート

□8/3 (日) 石川優歌 12:00 ~ / 13:30 ~ (各回30分程度)

□8/9 (土) 《夏休みスペシャル》 山口綾規 13:30 ~ (45分程度)

□8/16 (土) 「び〜すプロジェクト」関連コンサート 椎名雄一郎 13:30 ~ (45分程度)

ACM 劇場

■柳家花緑独演会

8/12 (火) 19:00 開演

料金 [全席指定] S席 ¥3,500 / A席 ¥3,000 / B席 ¥2,500

■花緑センパイ、10代と語る!

8/13 (水) 13:00 開演

料金 [全席指定] 大学生以下 ¥1,000 / 一般 (3階席のみ) ¥2,000

■《第46回 水戸市芸術祭》演劇フェスティバル

□舞踊劇団「創(生まれる)」 『葉菜のような! 風のように! 奏楽になって! 舞う』

8/22 (金) 18:00 開演 料金 [全席自由] ¥1,500

□プロフェッショナルファウル 『ある日の伝説』

8/23 (土) 18:00 開演 料金 [全席自由] 一般 ¥1,500 / 大学生以下 ¥1,000

□演劇 UNIT ホープフルモンスター 『そっちは残像だ!』

8/24 (日) 16:00 開演 料金 [全席自由] ¥1,000

□茨城大学演劇研究会 『流れ星』

8/29 (金) 18:30 開演 料金 [全席自由] 一般 ¥1,000 / 大学生以下 ¥800

□演劇フェスティバル実行委員会プロデュース公演 『ロミオとジュリエット』

8/30 (土) 18:00 開演、31 (日) 14:00 開演 料金 [全席自由] ¥1,500

現代美術ギャラリー

■鈴木康広展「近所の地球」

8/2 (土) ~ 10/19 (日) 9:30 ~ 18:00 ※入場は17:30まで

[休館日] 月曜日 ※ただし9/15、10/13 (月・祝) は開館、翌9/16、10/14 (火) 休館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体 (20名以上) ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■柳家花緑 × 鈴木康広ギャラリートーク「お見立て」

8/12 (火) 14:00 ~ 15:30

※料金は展覧会入場料に含まれます

※参加ご希望の方はギャラリー入口にお集まりください (予約不要)

■夏休みのアート体験! 「こども・こらぼ・らぼ 2014」

8/9 (土)、10 (日) 各日 10:00 ~ 16:30 (受付 9:30 ~)

[対象] 小中学生とその家族

[参加費] (1日券) 小中学生 ¥500 / 高校生以上 ¥1,000

(2日券) 小中学生 ¥800 / 高校生以上 ¥1,200

※高校生以上の方は展覧会入場料が含まれています

※申込み方法、プログラム等詳細はチラシまたはホームページをご覧ください

(情報は7月上旬公開予定)

茨城の主な8月の演奏会

■茨城県立県民文化センター (大ホール) TEL / 029(241)1166

・シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会 2014 (指揮:佐渡裕、チェロ:宮田大)

8/18 (月) 19:00 開演

■日立シビックセンター TEL / 0294(24)7720

・東京交響楽団 三大交響曲《未完成》《運命》《新世界より》(指揮:垣内悠希)

8/2 (土) 14:00 開演

・洋楽文庫 第1章 前橋汀子 ヴァイオリン音楽の愉しみ 8/17 (日) 14:00 開演

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間: 9:30 ~ 18:00 (月曜休館)

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

オルガンのリハに付き添うと、「遠くで音を聴きたい」というオルガニストのご要望に応えるため、素人ながらオルガンを弾くことがあります。昨日は足鍵盤をドソミソドソミソ…たったの4小節で腿の裏が筋肉痛です。(り)

はじめまして。6月より音楽部門スタッフの一員となりました。今まで逃れてきたパソコン操作という弱点を克服する時がついに訪れた!と、まだまだ学ぶことがたくさんある日々感謝し、頑張っていきたいと思えます。(福)

谷川俊太郎さんのエッセイを読んで、言葉の豊かさに驚いた。自然体の気取らない文章のなかに、馴染みのない言葉がふわっと入ってくる。ナイスプレイに喝采するスポーツ観戦のように詩人の言葉選びを楽しんでいる。(篠)

自分の手帳は7月始まり。新調するたび思うのだが、今年も「もう半分が過ぎてしまった」。でも、来年3月までの計画を真っさらの紙に書きこめば、もう自分の心は入れかわっている。このパターンが自分にはしっくり。(て)

市民のためのオルガン講座、今年は定員の2倍ものご応募を頂いた。最少は小学4年生。生徒さんとの出会いと成長を楽しみに(そして自分も弾いてみたいという欲望と闘いながら)今年度もまもなくキックオフ!(樹)

今年から小学生になった甥が、牛乳が嫌いで給食の時に飲めなくて苦労している。当時の自分と同じではないか!いいか、食事の最後に一気に流し込め!続けて息をしないで水を飲めば、味や匂いが残らなくて済むぞ!(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]
2014年8月発行 第189号
編集発行: 水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp
URL <http://arttowermito.or.jp/>
編集: 水戸芸術館音楽部門 (五十音順) / 石井亮子
稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃
デザイン: 藤澤絢子
印刷所: 山三印刷株式会社